

今年度で終了です

肝炎ウイルス検査

国のC型肝炎緊急総合対策を受けて、常陸大宮市でも肝炎ウイルス検査を平成14年度から実施しており、平成18年度で終了となります。

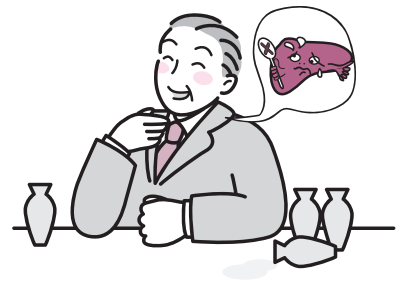
C型肝炎は、日本人の100万～200万人が感染していると推測されています。更に、感染しているにもかかわらず、感染していることを自覚していない人も多くいると考えられます。



Q どうして検査を受ける必要があるの？

A 肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、ウイルスに感染しても重症化するまで、自覚症状が現れにくいという特徴があります。また、肝炎ウイルスが体内に住み着いてしまうこと（キャリア化）があります。

特に、C型・B型肝炎にこの傾向が強く、キャリア化すると、慢性肝炎から肝硬変や肝がんへと進行することがあります。そのため、早期に感染を発見し、適切な処置を受けることによって、進行を遅らせたり食い止めたりするためです。



Q どのような検査をするの？

A 血液検査で分かります。

Q 誰でも検査が受けられるの？

A 40～70歳までの、職場等で健診を受ける機会のない方で、市で行う健診を希望する方が対象となります。

特に、次の①～③に該当する方で定期的に肝機能検査を受けていない方は、検査を受けるようお勧めします。

- ①過去に肝機能の異常を指摘されたことのある方
- ②過去に大きな外科的手術（手術）を受けたことのある方
- ③妊娠・出産時に大量に出血したことのある方

※ただし、平成14～17年度に検査を実施されている方は、検査を受ける必要はありません。



Q 検査を受けるにはどうすればいいの？

A 総合健診又は住民検診の際に「検査希望」の旨をお話ください。

※詳細については、保健センター又は各総合支所にお問い合わせください。